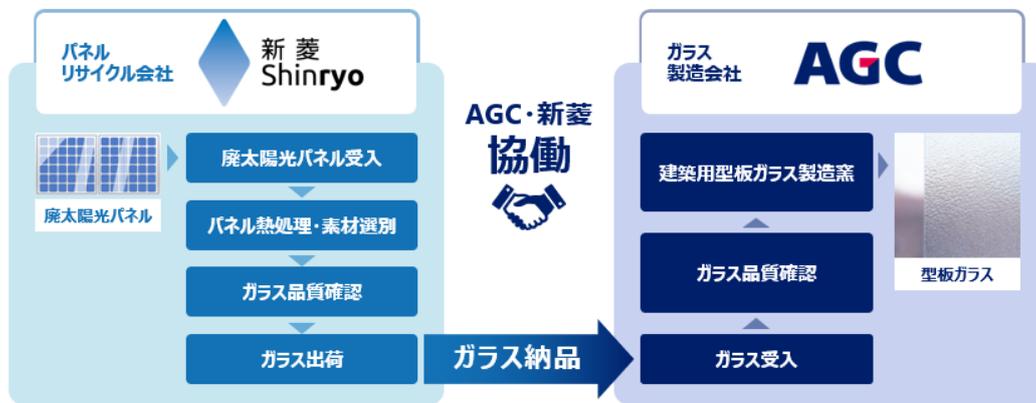


2023年11月7日

太陽光パネルカバーガラスのリサイクル実証試験に成功 —板ガラス原料向けとして国内初—

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）は、使用済みの太陽光パネルのカバーガラス約 24 トンを、原料カレット（ガラス端材）にリサイクルする実証試験に日本で初めて成功しました。本試験は 2023 年 10 月 19 日から 22 日にかけて、AGC横浜テクニカルセンターの建築用型板ガラス製造窯にておこなわれました。なお、太陽光パネルのガラス回収には、三菱ケミカルグループの株式会社新菱（本社：福岡県北九州市、以下新菱）の太陽光パネルリサイクル商業生産ラインの加熱処理技術が用いられました。



太陽光パネルカバーガラスのリサイクル工程

太陽光パネルの耐用年数は 20～30 年とされ、2030 年代後半より年間数十万トンの廃棄が予想されています。このうちカバーガラスは、全体の重量の約 6 割を占めており、産業廃棄物として大量に埋め立て処理された場合には、深刻な環境負荷を引き起こすと懸念されています。

今回の実証試験では、太陽光パネルのカバーガラスが、特殊な加熱処理によって板ガラスに再利用可能な原料カレットとなることを確認しました。これにより、産業廃棄物の削減や、珪砂やソーダ灰など天然資源由来原料の節減が可能となり、サーキュラーエコノミーの促進に貢献します。また、原料カレットの利用促進に伴い、製造工程におけるGHG排出削減にもつながります。

AGCは、中期経営計画 [AGC plus-2023](#) において、「サステナビリティ経営の推進」を掲げ、素材イノベーションによる社会課題の解決や、2050 年までのカーボンネットゼロ*を目指しています。これからも持続可能な地球環境の実現に貢献していきます。

注釈：*Scope1 およびScope2

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 株式会社 広報・IR 部長 小川 知香子

（担当：有木 TEL: 03-3218-5603 [お問い合わせフォーム](#)）

個人情報 は 当社 プライバシー ポリシー に 従っ て お取 扱 い を さ せ て い た だ き ま す 。